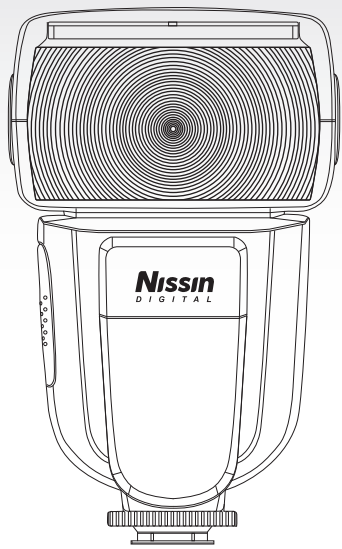


取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL



Nissin Di700Aをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- Di700Aは、
- キヤノン製EOSデジタル一眼レフカメラのE-TTLIIおよびE-TTL自動調光システムまたは、
 - ニコン製デジタル一眼レフカメラのi-TTL/i-TTL-BL自動調光システム

に対応するデジタルストロボです。本機をカメラに装着するだけで、カメラからの通信により自動的に光をコントロールすることができます。また、本機はスレーブおよびワイヤレスTTLリモートを搭載しており、カメラから離れた場所でシンクロさせることができ、ライティングの幅を大きく広げることができます。ご使用にあたっては、この取扱説明書をよくお読みにになり、内容をご理解の上、正しくご使用いただきますようお願いいたします。

安全上のご注意 ■必ずお守りください。

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱扱いにご注意ください。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電したり、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守りください。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。

警告

- 本機は高電圧の部品を使用していますので、絶対に分解しないでください。修理の場合は、弊社サービスステーションかまたは、ご購入されたお店にお持ちください。
- 落としたり、破損したりした場合、または機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。
- 人の目の前（特に乳幼児）に近づけて発光しないでください。目の近くで発光させると、視力障害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。
- コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入った場合、火災、感電または傷害の原因になります。
- 本機は防水ではないので、雨がかかる場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
- 自動車など40℃を超えるような高温になる場所に放置しないでください。
- 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。

注意

- 電池を高熱にさらさないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 不安定な場所で本機を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりすることにより怪我の原因となる場合があります。

その他の注意

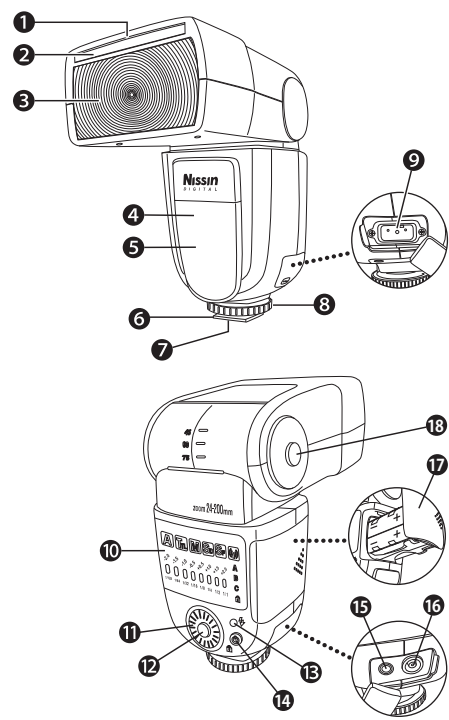
- ベンジンやシンナー、アルコールなどで本機を拭かないでください。変色や変形の原因となります。汚れのひどいときは柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本機を長期間使用しない場合は、電池を抜いて保管してください。

Di700Aの特徴

Di700Aは、設定が素早く行えるセレクトダイヤルを採用しているのが特徴です。指一本で軽快に操作が行えます。

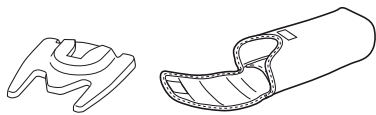
- 対応カメラについては、弊社ホームページでご確認ください。
<http://www.nissin-japan.com>

各部名称



- | | |
|---------------|----------------------|
| ① キャッチライトパネル | ⑩ カラーディスプレイ |
| ② ワイドパネル | ⑪ セレクトダイヤル |
| ③ 発光部 | ⑫ セットボタン |
| ④ スレーブセンサー | ⑬ パイロットランプ(テスト発光ボタン) |
| ⑤ オートフォーカス補助光 | ⑭ 電源ボタン(操作ロックボタン) |
| ⑥ 取り付け足 | ⑮ ストロボ増設端子 |
| ⑦ シュー接点ピン | ⑯ シンクロ端子 |
| ⑧ ロックリング | ⑰ バッテリーマガジン BM-02 |
| ⑨ 外部電源用ソケット | ⑱ ヘッド回転ロックボタン |

付属品:



ミニスタンド

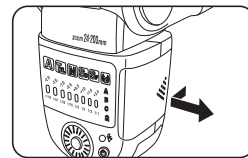
ソフトケース

基本操作

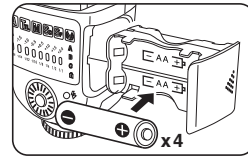
- 注意** ストロボ発光部の発熱や劣化を防止するため、連続発光は20回までに抑えてください。また、20回連続発光したあとは、10分以上休止してください。

電池の挿入

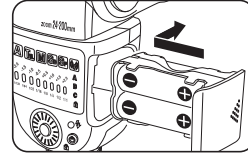
- 電池カバーを後ろにスライドしてバッテリーマガジンを引き出します。



- 電池ボックス内の+/-のマークに従って、電池を正しく挿入してください。



- バッテリーマガジンを挿入し、前にスライドして閉めてください。

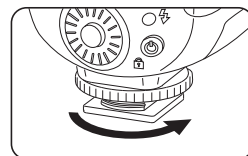


注意

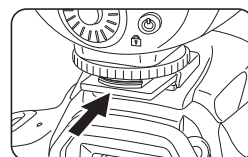
- 間違った挿入を行ったり、サイズの異なる電池を入れたりすると本機が破損する恐れがあります。
- すべて同じ銘柄の新品の電池をご使用ください。電池の交換は4本同時に行ってください。
- 単3形ニッカド電池、ニッケル水素電池、リチウム電池もご使用できます。
- 使用しない時は電池を抜いて保管してください。

カメラへの装着

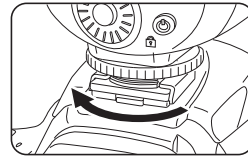
- 図のようにロックリングをまわして、緩めます。



- ロックリングを押しながらDi700Aの取付足をカメラのホットシューにしっかり差し込みます。



- ロックリングを図のようにまわし、カメラに固定します。



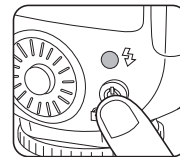
カメラから取り外す

- ロックリングを緩めて、取付足をスライドさせて取り外します。

- 注意** ●装着する前や取り外す前には、必ずDi700Aの電源とカメラの電源を切ってください。

ストロボの電源を入れる

- 「電源ボタン」を押すと電源が入り、パイロットランプが赤色に点灯し充電を開始します。
- パイロットランプが緑色になると充電完了です。
- テスト発光を行う場合は、パイロットランプを押してください。
- 電源を手動で切る場合は、「電源ボタン」を1秒以上押してください。



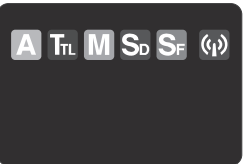
省電力モード

本機は、電池の消費を防ぐために、省電力モードを備えています。

A、TTL、Mモードの時はアイドル状態から2分後に、SD、SF、ワイヤレスTTLモードの時はアイドル状態から5分後にスタンバイモードに入ります。スタンバイモードの時は、パイロットランプが2秒毎に点滅します。本機を復帰させるには、カメラのシャッターボタンを半押しするかまたは、本機のどれかのボタンを押してください。本機の操作を60分間行わなかった場合は電源OFFになります。この場合は、再度電源を入れなおしてください。

メニュー画面について

電源を入れるとメニュー画面の表示は出荷時の初期設定で[A]フルオートモードになっていますので、一度セットボタンを押して、メニュー一覧表示にしてからダイヤルを回してモードを選んでください。



- A** …フルオートモード 発光量が自動的に調節されます。初心者の方にお勧めのモードです。
- TTL** …TTL自動調光モード 発光量が自動的に調節されます。ストロボによる微調節ができ、サブ発光機能もご使用になれます。
- M** …手動設定モード 発光量を手動で調節できます。
- Sd** …デジタルスレーブ プリ発光キャンセル機能付きスレーブ(TTL対応型)
- Sf** …アナログ(フィルム)スレーブ 単発発光用スレーブ(従来型)
- 無線** …光学式ワイヤレスTTLスレーブ 光学式システムのマスターユニット(ストロボ)からTTL/マニュアル制御できます。
- 電波** …電波式ワイヤレスTTLスレーブ(NAS) NASのマスターユニットからTTL/マニュアル制御できます。 ※マスター機能について詳しくはNASコマンドの取扱説明書を御覧ください。

Di700Aのモードと機能

A フルオートモード

キヤノン用

カメラの撮影モードが[□]、[P]、[AV]、[TV]、[M]の時に、E-TTL II / E-TTL自動調光を行うことができます。

ニコン用

カメラの撮影モードが[] (フルオート)、[P]、[A]、[S]、[M]の時に、i-TTL、i-TTL-BL自動調光を行うことができます。

本機をAモードにセットした時、上記のカメラモードでTTL自動調光システムが動作します。フルオートモードは、ほとんどの操作をカメラ側で行うことができる、初心者向けのモードです。

- セットボタンを押し、セレクトダイヤルを回してAモードを選び、セットボタンを押して決定します。
- これで、Aモードの設定は完了です。
- シャッターボタンを半押しして、被写体に焦点を合わせます。
- カメラのビューファインダーにシャッター速度、絞り、フラッシュマークが表示されます。
- シャッターボタンを押して撮影します。本機が発光し、カメラの液晶画面に撮影画像が表示されます。
- レンズ焦点距離を変えると、本機の発光ヘッド内のユニットが自動で移動し、その焦点距離を効率よくカバーします。(24 ~ 200mm 以上をカバー)

TTL TTL自動調光モード

TTLモードでは自動で最適な露出を得ることができますが、任意で調光補正機能を使った微調整を行うことも出来ます。本機は、セレクトダイヤルにより素早く確実な調光補正が行えますので、とても便利です。

キヤノン用

カメラの撮影モードが[□]、[P]、[AV]、[TV]、[M]の時に、E-TTL II / E-TTL自動調光を行うことができます。

ニコン用

カメラの撮影モードが[] (フルオート)、[P]、[A]、[S]、[M]の時に、i-TTL、i-TTL-BL自動調光を行うことができます。

- セットボタンを押し、セレクトダイヤルを回してTTLモードを選び、セットボタンを押して決定します。
- これで、TTLモードにセットされました。
- 調光補正を行う場合は、セレクトダイヤルを回します。
- 時計回りに回すと+EV補正になります。反時計回りに回すと-EV補正になります。
- 補正值は-2.0EV ~ +2.0EVまで0.5EV刻みで調節出来ます。LEDが点灯しない状態は0.0EVになります。
- シャッターボタンを半押しして、被写体に焦点を合わせます。
- カメラのビューファインダーにシャッター速度、絞り、フラッシュマークが表示されます。
- カメラによっては、カメラ側から調光補正を行うことができます。(詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。) また、ストロボ、カメラ、両方の調光補正がセットされている場合は、両方の補正值が合算されます。
- 本機のディスプレイには、本機でセットした補正值のみが表示されます。(カメラ側の調光補正值は反映されません。)

